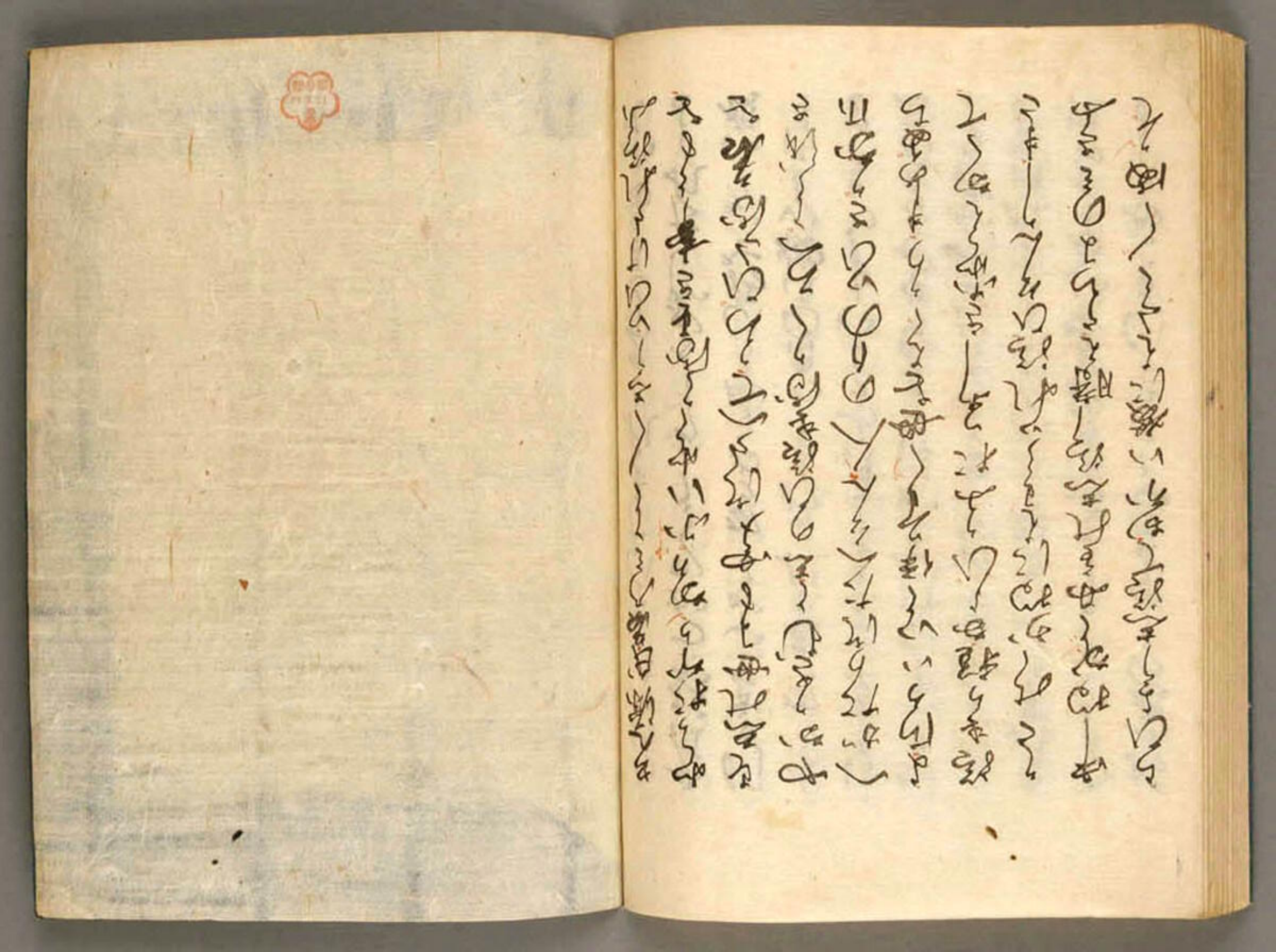
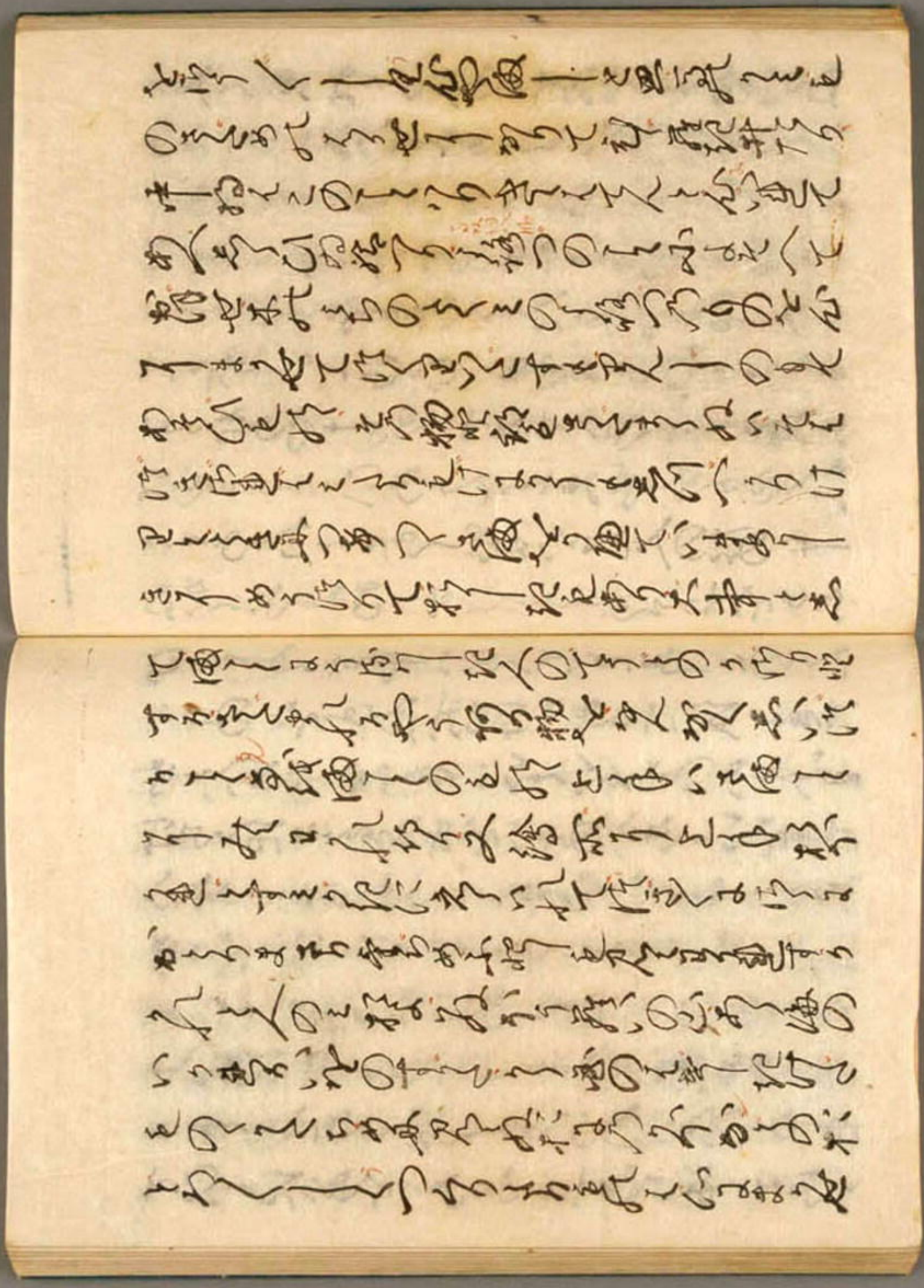
WA 7
(2)
263

[illegible]

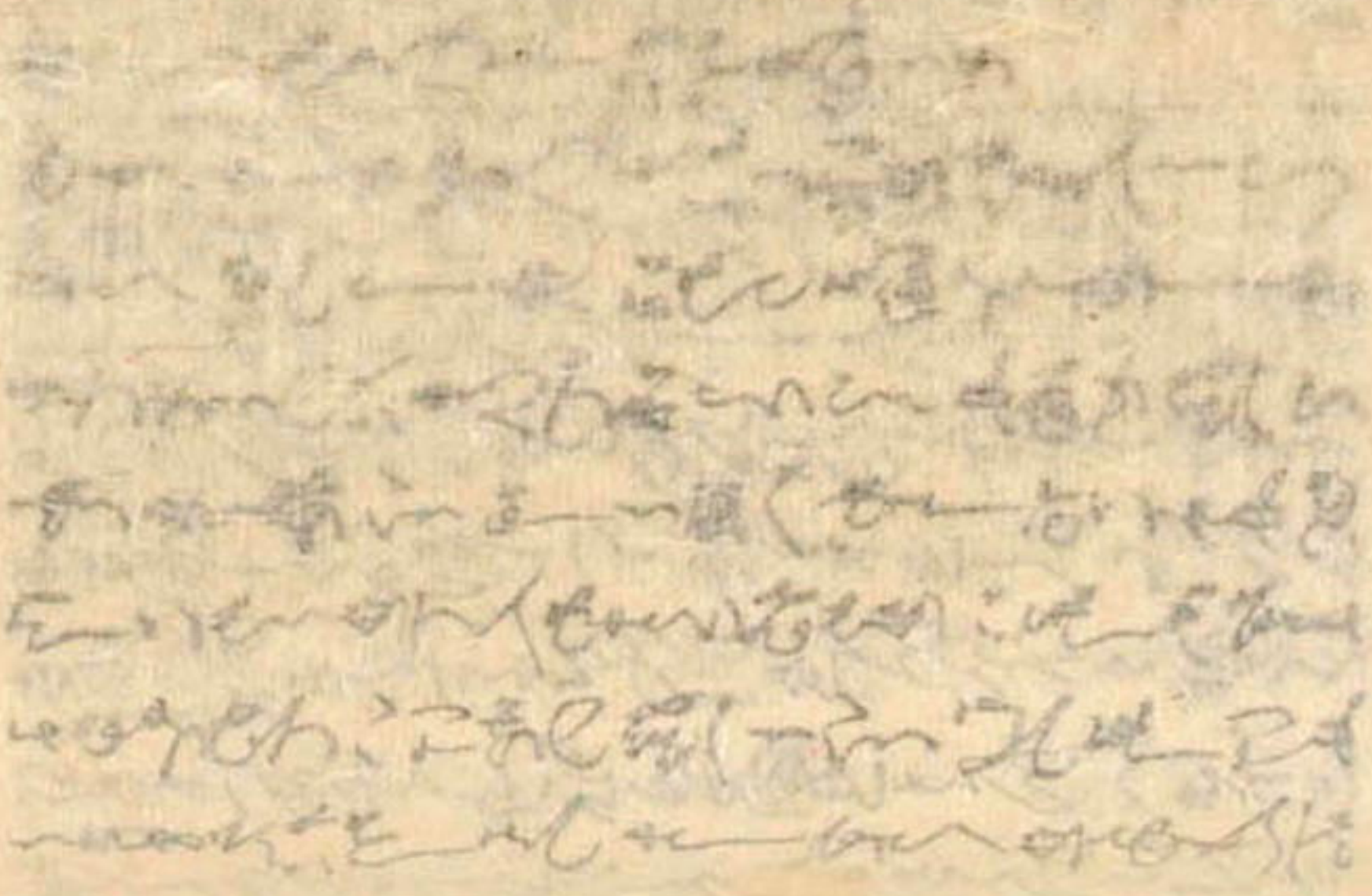




おそく／＼よれなかよ行のむちをそてさすか
ふれつゝくとおらす海こしりぬやまをくて
けむりかはりか治をへとふみて川とはて
かく海かいてわれまうり心もうしなえ
何事ともんそしまりうんくら行しりほと
おかすかくさあかさくうし地里へまハか
又ちもうてまうしき物にしも於かそ貴い御し
常にしうち女そ女そ縁あうとん里ひ路は
めむけぬ世と思ふたぬやうり於け世話
かんいてなしさしうみられていそくさ

あの縁のさまつぬわりしなりゝの身み
てらは流ゐたへかを御りりいわの御しさ
我なのまた兄あ縁姉をとやらも思給
へまくさめまし又とやそうりなりし祖孫の
独をみりひ給そそくひかて甘ふ給へ御て
はなくみりらしいまえ兄人ことかけそとて
松や御るさ海室まいそとそくりりありと流かか
らもちさりかくさめ給す御給ふ御てとう
えかきぬ人てれさいそていそ井路てかうけ
る我りかれ車ひきそそらかて以ふかりゝを

それをそれた
ふかうをそれ
念仏をとき
とあらんへく
人のききくみ

[illegible]

[illegible]